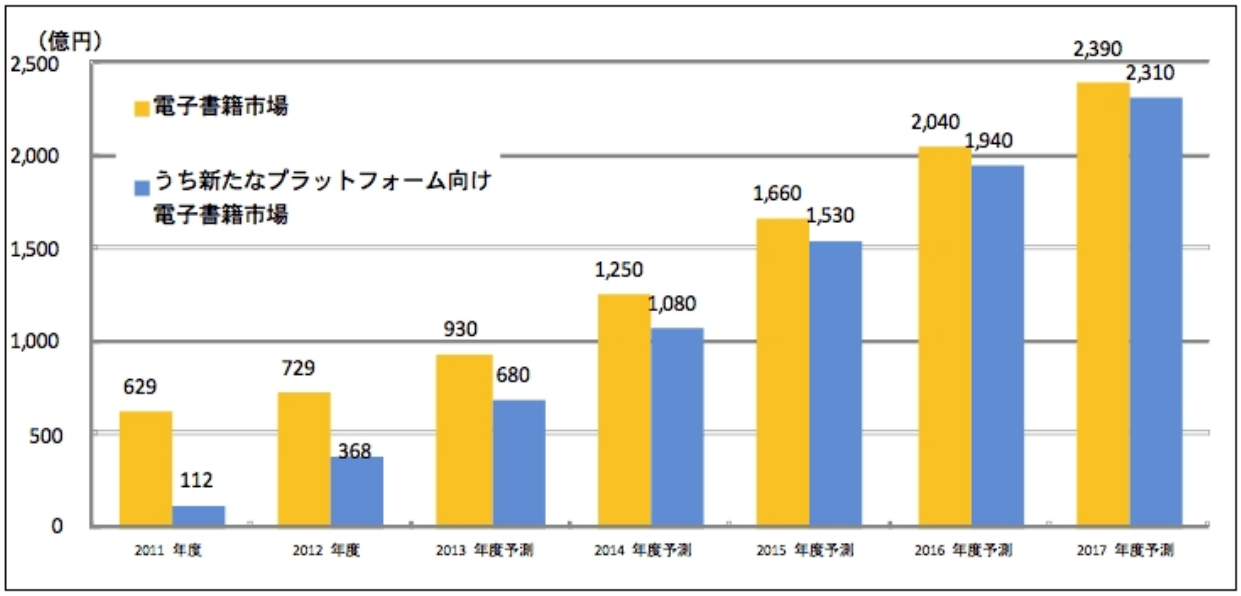
NEW
インプレスが、『電子書籍ビジネス調査報告書2013』の発行を発表した。その内容の一部が公表されたが、それによると、2011年度の日本の電子書籍市場規模は
729
億円で、前年度から
100
億円（
15.9%
）増加しているという。また、
2017
年度には
2012
年度の
3.3
倍の
2390
億円程度になるという。今後の電子書籍市場は、新プラットフォーム（タブレット、スマホ）が担うようになるとされ、その市場は
2017
年度には
2310
億円になると予想している。

　にわかに信じ難い予想である。というのは、スマホではガラケーでのエロ漫画コンテンツは認可されないことが多い。とすると、これまで日本の電子書籍市場を牽引してきたこれらのコンテンツに代わって、一般書の市場が立ち上がらなければ、この数字は達成できない。それも
1000
億円規模でである。そんなことが、本当に起こるだろうか？



年度	電子書籍市場規模(億円)				電子雑誌市場規模(億円)	電子出版市場規模(億円)
	うちPC向け	うちケータイ向け	うち新たなプラットフォーム向け			
2002年度	10	–	–	10	–	–
2003年度	18	1	–	18	–	–
2004年度	33	12	–	45	–	–
2005年度	48	46	–	94	–	–
2006年度	70	112	–	182	–	–
2007年度	72	283	–	355	–	–
2008年度	62	402	–	464	–	–
2009年度	55	513	6	574	–	–
2010年度	53	572	24	650	6	656
2011年度	37	480	112	629	22	651
2012年度	10	351	368	729	39	768
2013年度予測	10	240	680	930	80	1,010
2014年度予測	–	170	1,080	1,250	130	1,380
2015年度予測	–	130	1,530	1,660	190	1,850
2016年度予測	–	100	1,940	2,040	260	2,300
2017年度予測	–	80	2,310	2,390	330	2,720